



株式
会社

鳥羽洋行



第60期

中間報告書

2008年4月1日>>>2008年9月30日

先端技術で社会と産業の進化を支える

TOP MESSAGE

株主の皆様へ



最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、
ますますご清栄のこと
お慶び申し上げます。
平素は、格別のご高配を賜り、
ありがたく厚くお礼申し上げます。
ここに、当社第60期上半期
(平成20年4月1日から平成20年9月30日まで)の
中間報告書をお届けするにあたり、
ひとことご挨拶申し上げます。

当中間期の概況

当中間期における経済情勢は、昨年来の米国におけるサブプライムローン問題に端を発した世界的な金融市場の混乱の影響等により、世界経済全体が減速感を強めております。こうした世界経済の動向は、今まで好調を維持してきた日本の輸出関連企業の設備投資動向にも大きな影響を及ぼしてきております。このような経済環境におきまして、当社の関連する得意先の中でも特に半導体製造装置、携帯電話、及び、自動車・車載部品等の業界において景気減速の影響がより顕著となってきており、これらの業界における設備投資は急速に抑制の色合いを強めてきております。

当社の業績について見ますと、とりわけ半導体製造装置業界向けの制御機器に対する影響が大きく、同業界における売上は期初の販売計画を下回る結果となりました。更に、自動車・車載部品業界における設備投資も原油価格高騰の影響で国内における新車販売の伸び悩み傾向が鮮明となり、設備投資が抑制されたこと

から同業界向けの産業機器の売上も期初の販売計画を下回りました。

このような状況におきまして、前事業年度から好調であったFA機器のうちロボット等は、各得意先における省力化、合理化のための設備投資が依然堅調で、全体的に不振の中でも期初の販売計画を上回ることができました。

以上の結果、売上高は119億76百万円となり、営業利益は8億67百万円、経常利益は9億31百万円、四半期純利益は5億56百万円となりました。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成20年12月
取締役社長 三浦直行

Business Review

部門別概況

制御機器

生産工場の構成には
欠かせない

当部門は、空気圧機器、真空機器、流体継ぎ手、圧力センサー、電子センサーなどで構成されており、主として実装機、デジタル機器、半導体製造装置、自動車・車載部品などの得意先へ販売しております。当中間期は半導体製造装置及び自動車・車載部品等の得意先への空気圧機器の販売が低調であったため、売上高は前年同期比11.8%減の46億81百万円となりました。

FA機器

工場の自動化・
コストダウンを実現

当部門は、ロボット、自動組立機、チップマウンター、レーザー加工機などで構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、基板実装などの得意先へ販売しております。前期に引き続いてFAロボットが好調であったため、売上高は前年同期比8.2%増の57億67百万円となりました。当部門におきましては、新たにディスペンサー等の商品が注目されております。

産業機器

生産組立て作業に
使用されている

当部門は、電気ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、環境システムなどで構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療などの得意先へ販売しております。当中間期は半導体及び自動車・車載部品等の得意先へのアルミフレーム、無人搬送車の販売が伸び悩んだため、売上高は前年同期比13.3%減の15億28百万円となりました。

売上高

当中間期

平成20年9月期



- 制御機器
4,681百万円 (39.1%)
- FA機器
5,767百万円 (48.1%)
- 産業機器
1,528百万円 (12.8%)

前中間期

平成19年9月期



- 制御機器
5,304百万円 (42.8%)
- FA機器
5,331百万円 (43.0%)
- 産業機器
1,762百万円 (14.2%)

The Movement

鳥羽洋行の状況

当社は、空気圧機器、電子機器などの制御機器をはじめ、ロボット等のFA機器、産業機器を国内外の有力なユーザーへ販売する機械工具の専門商社です。

そのため、業務範囲は幅広く、コンサルティングから分析、提案、製品納入、アフターサポートまで一貫して行い、産業のあらゆる場面に及んでいます。

鳥羽洋行の特徴と強み

当社の大きな特徴は、ユーザーに直接販売することです。当社が販売する製品は、空気圧機器や電子機器関連の制御機器をはじめ、各種産業用ロボット、物流搬送機器、電子部品実装機、半導体製造装置向けの各種部材と幅広く、ユーザーの生産設備計画などを初期段階から把握し、生きた情報を仕先のメーカーにフィードバックすることで、様々なユーザーニーズに応えております。

また、当社の営業社員の約70%が空気圧技能士（国家資格）1級、2級の資格保有者です。他にもSE等の専門資格保有者がおり、専門知識を活かしてユーザーのニーズにお応えする提案型営業は、ユーザーから高く評価され、信頼されております。

こうした、販売方針や営業体制は、豊富な経験とノウハウに基づいて形づくられたもので、当社の大きな強みであります。

平成19年2月には、本社及び全ての営業所が環境国際規格（ISO）14001の認証取得をしました。販売商品におきましても、環境に配慮した商品を提供し、より一層環境保全活動に取り組んだ企業活動を行っております。

制御機器



ガイド付ジグシリンダー
（株）コガネイ



5ポートソレノイドバルブ
SMC(株)



レーザーセンサ
SUNX(株)

F A 機器



マウンター
ヤマハ発動機(株)



垂直多関節ロボット
（株）アンソーウェア

現況及び展望

世界経済をリードしてきました米国における、サブプライムローンの焦げつき問題に端を発した、金融危機は、世界の産業界に大きな影響を及ぼし、世界同時不況にまで拡大しております。この世界的な産業不況は、上期後半よりわが国経済にも大きな影響を及ぼしております。こうしたことより、個人消費の衰退のスピードが早まるとともに、自動車産業界、半導体産業界、住宅産業界等において特に販売不振を招き、それらの業界における設備投資活動に急激なブレーキがかかっております。

このような経済全体の状況は、当社の関連する業界にも大きな影響が出ており、中でも半導体製造装置関連、自動車・車載部品関連等の得意先における設備投資の状況は、当期後半より急激に低下しつつあり、当社の業績に少なからざる影響を与えております。

当社は、このような環境のもとで、既に前期（第59期）より、現在を新たな100年に向けた発展のための基礎固めの時期と位置づけ、将来の発展に向けて、より筋肉質な体制となるべく営業、管理両面における足もとの状況の再構築を行っております。

営業面におきましては、一番目に前期より全国の基幹営業所に新規開拓専任者を配置して、当社の将来の索引役となっていただく得意先の開拓を行っており、成果も序々に出つつあります。二番目には、提案営業をより強化するために全営業所において、得意先の工場等に出向いて「ミニ展示会」を実施しております。新商品・環境対応商品等を紹介するなど、得意先に対する提案力の強化を図っております。三番目に、販売商品におきまして地球環境に配慮した商品を提供する体制も強化しております。CO2削減効果のある電動シリンダの販売推進は得意先の評価を得ております。

管理面におきましては、前期末より社内における規程関係の全面改定を一大作業として実施し、今上期に完成致しました。社内の諸規程等を再点検をすることにより、無駄の排除が行われることはもとより、内部統制、コンプライアンスの徹底などにも大きな成果が現れるものと期待しております。

以上のような活動は、即効力は得られないかもしれませんが、将来の当社にとって大きな原動力となり、株主の皆様にも必ずやご理解いただけるものと確信しております。



IRへの取り組み

平成20年5月13日
●証券アナリスト向け決算説明会
：みずほインベスターズ証券本社

平成20年8月27日
●個人投資家向け会社説明会
：東京証券会館
日本証券業協会 証券教育広報センター(主催)



平成20年8月30日
●大和インベスターズ・リレーション
(主催)
名古屋ミッドランドスクエア

産業機器



レーザーマーカー
ミヤテテクノス(株)



ロボシリンダー
(株)アイエイアイ



電動ドライバー
(株)ハイオス



コンベア
三機工業(株)



無人搬送車
(株)タクマ精工

Achievement Highlight

中間財務ハイライト

売上高



経常利益



中間(当期)純利益



1株当たり中間(当期)純利益



総資産



純資産



Financial Data

中間財務諸表

中間貸借対照表

(単位:千円)

科目	当中間期 (平成20年9月30日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)	科目	当中間期 (平成20年9月30日現在)	前期 (平成20年3月31日現在)
資産の部			負債の部		
流動資産	14,916,187	15,787,511	流動負債	6,205,681	6,597,780
現金及び預金	5,914,360	5,002,061	支払手形及び買掛金	5,482,560	5,700,592
受取手形及び売掛金	8,764,410	10,472,533	一年内償還予定の社債	80,000	80,000
商品	74,694	70,586	未払法人税等	375,795	455,094
その他	162,865	242,329	引当金	135,000	192,000
貸倒引当金	△143	—	その他	132,324	170,092
固定資産	4,853,602	4,854,905	固定負債	286,294	401,711
有形固定資産	2,160,562	2,181,846	社債	80,000	120,000
無形固定資産	18,330	18,839	引当金	24,125	24,125
投資その他の資産	2,674,709	2,654,219	その他	182,169	257,586
			負債合計	6,491,975	6,999,491
			純資産の部		
			株主資本	13,218,200	13,545,809
			資本金	1,148,000	1,148,000
			資本剰余金	1,261,059	1,261,059
			利益剰余金	11,269,140	11,136,749
			自己株式	△460,000	—
			評価・換算差額等	59,614	97,116
			その他有価証券評価差額金	59,614	97,116
			純資産合計	13,277,814	13,642,926
資産合計	19,769,790	20,642,417	負債及び純資産合計	19,769,790	20,642,417

Financial Data

中間財務諸表

中間損益計算書

(単位:千円)

科目	当中間期 (平成20年4月1日から 平成20年9月30日まで)	前期 (平成19年4月1日から 平成20年3月31日まで)
売上高	11,976,443	25,800,629
売上原価	10,050,681	21,500,481
売上総利益	1,925,762	4,300,148
販売費及び一般管理費	1,058,702	2,184,289
営業利益	867,060	2,115,858
営業外収益	67,675	143,799
営業外費用	3,670	8,350
経常利益	931,064	2,251,307
特別利益	24,678	1,037
特別損失	684	13,567
税引前四半期純利益	955,057	2,238,777
法人税、住民税及び事業税	369,700	922,600
法人税等調整額	28,967	30,077
四半期純利益	556,390	1,286,100

Corporate Data

会社情報

会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行 (英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道2丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日 (創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。
従業員数	208名 (男性：151名 女性：57名) (平成20年9月末現在)

役員

代表取締役社長	三浦直行
常務取締役	藤原茂夫
取締役	鶴川健
取締役	遠藤稔
取締役	鳥羽重良
取締役	松永健一
取締役	尾関真一郎
常勤監査役	尾日向宏
監査役	上田正
監査役	池田圭介
監査役	金森浩之

営業ネットワーク

西日本営業部

- 名古屋営業所
- 滋賀営業所
- 大阪営業所
- 兵庫営業所
- 広島営業所
- 福岡営業所
- 大分営業所
- 今治出張所

関東第一営業部

- 川越営業所
- 熊谷営業所
- 前橋営業所
- 宇都宮営業所
- 仙台営業所

- 本社 (管理本部・営業本部・海外営業部・特機システムグループ)

関東第二営業部

- 東京営業所
- 東京南営業所
- 千葉営業所
- 茨城営業所
- 厚木営業所
- 八王子営業所
- 甲府営業所
- 松本営業所
- 静岡営業所
- 沼津営業所
- 青森出張所

(注) 平成20年4月より上記に変更

Stock Information

株式情報

(平成20年9月30日現在)

株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000株
発行済株式総数	5,300,000株
株主数	2,192名

株式数分布状況

所有者別



- 個人・その他
3,270,783株 (61.70%)
- 金融機関
458,000株 (8.64%)
- その他国内法人
391,800株 (7.39%)
- 外国人
1,155,600株 (21.80%)
- 証券会社
23,817株 (0.44%)

地域別



- 北海道
6,701株 (0.12%)
- 東北地方
22,000株 (0.41%)
- 関東地方
2,938,646株 (55.44%)
- 中部地方
491,402株 (9.27%)
- 近畿地方
598,873株 (11.29%)
- 中国地方
26,672株 (0.50%)
- 四国地方
18,300株 (0.34%)
- 九州・沖縄地方
41,606株 (0.78%)
- 国外
1,155,800株 (21.80%)

株主優待制度変更のお知らせ

当社は、株主優待制度につきまして、前期より内容を変更いたしました。

制度の変更の内容は、下記のとおりであります。

変更の内容

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
変更前	安曇野産コシヒカリ 3,000円相当	オリジナル図書カード 1,000円相当
変更後	オリジナル・クオカード 3,000円相当	オリジナル・クオカード 1,000円相当



Stockholder Memo

株式メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領 株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社 本店
同事務取扱所	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-78-2031 (フリーダイヤル)
同取次所	中央三井信託銀行株式会社 全国各支店 日本証券代行株式会社 本店及び全国各支店
単元未満株式の買取	上記株主名簿管理人にて取扱います。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

株式に関するお手続き用紙のご請求について

住所変更、単元未満株式買取請求、名義書換請求及び配当金振込指定に必要な各用紙のご請求は、下記株主名簿管理人中央三井信託銀行のフリーダイヤルまたはホームページをご利用ください。

- フリーダイヤル0120-87-2031 (24時間受付:自動音声案内)
- ホームページ http://www.chuomitsui.co.jp/person/p_06.html



株式
会社 鳥羽洋行

〒112-0005東京都文京区水道2丁目8番6号 ☎(03)3944-4031
<http://www.toba.co.jp/>